

令和4年 大阪府内の事業場で発生した熱中症の発生事例（死亡）

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
6月	警備業	22時台	60代	男性	28.0	24.6	警備巡回中に倒れていたところを、通行人に発見され、救急搬送したものの。	屋外

発生月欄の☆印は「緊急時の措置」が適切にとられていなかった事案

令和4年 大阪府内の事業場で発生した熱中症の発生事例（休業4日以上）

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	気温(℃)	WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
5月	パン・菓子製造業	19時台	50代	女性	20.8	20.7	パンの焼成作業に従事中、トイレ内で倒れていたもの。	屋内
5月	その他の小売業	14時台	20代	男性	26.1	23.8	屋外の会社敷地内で納車準備作業中、手足の痺れと呼吸困難となり、脱水状態であったため、救急搬送したものの。	屋外
6月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	17時台	30代	男性	27.5	17.4	現場作業終了後、片付作業を行っていた際、足がつったので、水分とタブレットをとり1時間ほど休憩し、回復したので帰宅したが、帰宅途中に様態が急変し、自ら救急車を呼んだもの。	屋外
6月	一般貨物自動車運送業	13時台	70代	男性	32.9	22.5	構内での荷降し作業を終了後、熱中症により意識を失い転倒し、救急搬送されたもの。	屋内
6月 ☆	社会福祉施設	15時台	40代	男性	30.2	28.3	事務所内での業務に従事後、銀行へ行き、戻った後に頭痛・吐き気の症状が出た。体を冷やした後帰宅、その後症状が改善せず4日後に病院で受診したものの。	屋内
6月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	21時台	60代	男性	29.4	25.2	現場作業に従事し、帰宅後、夜間に発熱。翌日病院で受診したものの。	屋外
6月	ビルメンテナンス業	15時台	40代	男性	30.0	27.2	地下通路で立哨警備中、気分が悪くなり嘔吐したため、応急処置を行ったが回復せず、救急搬送したものの。	屋内
6月	建築設備工事業	16時台	60代	男性	30.4	26.2	工事実施の近隣PR中に、頭痛・眩暈がしたため業務を中止し休憩させたが回復せず、病院に連れて行ったもの。	屋外
6月	その他の金属製品製造業	13時台	60代	男性	30.6	28.8	金属加工を行う事業場において、午後の作業を再開したところ、高温のため作業中に急にふらつき、同僚が病院に連れて行ったもの。	屋内

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	気温(℃)	WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
6月	陸上貨物取扱業	21時台	70代	男性	28.1	24.8	倉庫内で仕分け作業中、頭痛・吐き気・腕の痺れの症状があったため、病院を受診したものの。	屋内
6月	その他の事業-その他	12時台	60代	男性	33.4	27.9	車庫内で清掃作業後、更衣室横に清掃用具を置いた後、立ち上がれなくなり、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月	一般貨物自動車運送業	15時台	50代	男性	37.6	26.6	トラックで住宅地内をドライバーの横に乗り配達業務に従事中、頭がくらくらして、事務所に連れ帰って休憩させていたが回復せず、病院に救急搬送したものの。	屋外
7月	各種商品卸売業	11時台	40代	女性	34.4	30.4	バックヤードで在庫整理作業中、暑さで眩暈・頭痛を生じ気分が悪くなったため、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月 ☆	その他の事業-その他	9時台	30代	女性	31.4	30.0	部品袋詰作業員が作業場で座り込んでいたため、休憩させ帰宅させた。翌日も出勤してきて作業を行っていたが、約30分後に座り込んだため、休憩させ帰宅させた。その後病院を受診し熱中症と診断されたものの。	屋内
7月 ☆	旅館業	11時台	50代	女性	32.9	30.0	備品保管倉庫で在庫品の補充等作業中、気分不良・頭痛呼吸困難、脱力感があり、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月	ビルメンテナンス業	5時台	50代	男性	26.8	29.0	朝礼中に突然意識を失い倒れ、顎を骨折、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月	その他の小売業	15時台	20代	男性	30.2	30.8	工場構内の通気性の悪い暑いピット内での作業中、水分補給の休憩を挟んで作業を開始して約1時間後、足の痺れ・歩行困難となり、構内診療所に運び応急処置の後、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月	染色整理業	16時台	60代	男性	29.7	30.1	熱湯を使用しての染色作業を終え、会社の隣の店舗でお茶を購入中に突然気を失い倒れたため、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月 ☆	一般貨物自動車運送業	8時台	40代	男性	26.6	30.8	炎天下での荷降し作業中、吐き気がし、手がつり出したが、そのまま作業を続けていて、熱中症になったものの。	屋外
7月 ☆	陸上貨物取扱業	14時台	70代	男性	31.0	31.1	倉庫内で荷の積み替え作業中頭痛・眩暈の症状が出たため、作業終了後病院を受診、熱中症と診断されたものの。	屋内
7月	機械(精密機械を除く)器具製造業	13時台	30代	男性	31.0	31.1	気温の高い環境で研磨機を使用しての作業中、吐き気、頭痛・手足の痺れが出たため、速やかに早退し病院を受診したものの。	屋内

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	気温(℃)	WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
7月	一般貨物自動車運送業	10時台	40代	男性	32.4	30.9	荷主先倉庫内で作業中、体調が悪くなり、冷房の効いた部屋で休憩していたが回復せず、病院に救急搬送したものの。	屋内
7月	機械(精密機械を除く)器具製造業	10時台	40代	女性	32.4	30.9	工場建屋内の気温の高い環境の中で機械加工を行っていた際、頭痛・吐き気・倦怠感を感じたので、早退したが、熱中症となったものの。	屋内
7月	一般貨物自動車運送業	4時台	40代	男性	27.5	31.9	トラックドライバーが自身で荷積み後、走行していたところ、熱中症となったものの。	屋外
7月 ☆	機械(精密機械を除く)器具製造業	13時台	30代	女性	33.1	31.7	午前中テント倉庫で作業に従事、体調不良を感じたが昼食後も作業を続けて、フォークリフトによる運搬作業を行っていた際に気分が悪くなり、その場に座り込んだ。少し休憩させたが、手足にしびれを感じたことから、病院に救急搬送したものの。	屋外
7月	警備業	9時台	50代	男性	30.4	31.7	現場で重機の誘導業務に従事後水分補給のため持ち場を離れた際、意識がもうろうとなり倒れ、病院に救急搬送したものの。	屋外
8月	ゴム製品製造業	9時台	40代	男性	32.5	31.7	機械(押し出し機)に材料を投入中、眩暈があり、クーラーのあたる場所で座って休憩、塩飴・スポーツドリンクを摂取するも回復せず、嘔吐の症状もあったことから、病院に受診したものの。	屋内
8月	一般貨物自動車運送業	21時台	50代	男性	30.6	31.7	朝から体調が思わしくなかったが出勤、夜間の配達業務に従事中気分が悪くなり嘔吐し動けなくなったものの。	屋外
8月	警備業	16時台	40代	男性	33.2	31.7	ドラッグストアの警備を行っていた際に、熱中症により倒れ、一般の方に救急要請され病院に搬送されたものの。	屋外
8月 ☆	鉄道・軌道業	15時台	40代	男性	33.8	31.7	出勤前、僅かな頭痛があったものの、車掌として乗務、途中駅で頭痛や痺れがひどくなるものの、終着駅まで乗務。乗務交代を終えた後両手足が痙攣、病院に救急搬送したものの。	屋内
8月	警備業	9時台	70代	男性	31.5	31.7	工事現場の交通誘導業務に従事中、意識がもうろうとなったため、病院に救急搬送したものの。	屋外
8月 ☆	製材業	7時台	30代	男性	29.7	31.7	始業後、すぐに頭痛・吐き気・倦怠感の症状が現れ、昼過ぎに早退して帰宅。翌日病院を受診し、熱中症と診断されたものの。	屋内

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	気温(℃)	WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
8月	一般貨物自動車運送業	15時台	40代	男性	33.8	31.7	倉庫で商品の仕分け作業後、眩暈・吐き気・頭痛があり、嘔吐したため、病院に救急搬送したもの。	屋内
8月	新聞配達業	16時台	50代	男性	34.4	30.5	夕刊の新聞配達中、道端で倒れ、一般の方に発見され、病院に救急搬送されたもの。	屋外
8月	その他の事業-その他	15時台	60代	男性	32.6	29.9	資材置場で資材を片付中、倉庫内の気温が高かったため、熱中症とおもわれる症状で倒れたもの。当日は自宅で休養するも翌日も体調が悪く、病院を受診して熱中症と診断されたもの。	屋内
8月	非鉄金属精錬・圧延業	14時台	50代	男性	33.2	29.9	圧延機のカバーの調整作業中、脱力感を覚え、立ち上がることができなくなり、そのまま床面に倒れ込み動けなくなったもの。	屋内
8月	警備業	8時台	60代	男性	27.3	29.9	倉庫出口の門で車の誘導業務中、熱中症により転倒し、後頭部を打撲したもの。	屋外
9月	警備業	8時台	50代	男性	30.6	29.9	工事現場の交通誘導員としての業務開始前の朝礼時にふらついた後座り込み立てなくなったため、救急車にて病院に搬送したもの。	屋外
9月 ☆	倉庫業	14時台	70代	男性	28.5	33.0	倉庫内での段ボール箱への箱詰作業の業務中、水分補給休憩の後に作業に戻ろうとした際、体がいうことを聞かなくなりそのまま全身硬直し立てなくなったため、救急車にて病院に搬送したもの。	屋内
9月	鉄道・軌道業	14時台	50代	男性	33.7	33.0	午前中に約2時間清掃作業に従事し、勤務終了後帰宅し自宅で横になっていたところ、意識がもうろうとし痙攣・嘔吐の症状が出たため、救急車にて病院に搬送したもの。	屋内
9月 ☆	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	15時台	30代	男性	32.9	31.8	店舗の改装工事現場において作業中、体調がよくなかったがそのまま作業を続行した後帰宅、夕食を食べようとしたところ意識を失い、救急車にて病院に搬送したもの。	屋外
10月	警備業	10時台	40代	男性	20.8	25.0	現場入口で交通誘導中、熱中症になり、立ち眩みにより転倒し顔面ほかを打撲したもの。	屋外
10月	その他の事業-その他	13時台	40代	男性	29.7	26.2	駐輪場にて業務に従事中、突然寒気、気分が悪くなり、トイレに行く途中で嘔吐し体がふらつき転倒したもの。	屋外

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	気温(℃)	WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
11月	その他の土木事業	15時台	70代	男性	-	-	作業に従事中、少しふらつきがあったので水分補給のため車に向かって歩いていた際に意識を失い、そのまま路上に倒れ負傷した。その後すぐに病院を受診、熱中症と診断されたもの。	屋外

WBGT 値については環境省 熱中症予防情報サイトより